平成２８年省エネルギー基準対応

自己適合宣言書文書番号:LXEC-1601

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

作成:2016年06月16日
改訂:2021年02月12日

開口部の熱貫流率・日射熱取得率 性能一覧 (RWG034)

株式会社LIXIL

商品: 防火戸FG-H
品種: 縦すべり出し窓(オペレーター) T、T/F、段窓排気ファン付縦すべり出し窓(オペレーター)
横すべり出し窓(オペレーター)
高所用横すべり出し窓

ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率・日射熱取得率

熱貫流率(A～F)は、表1を参照ください。
表中の記号及び数値については、当社製ガラスでの評価となります

★:防犯ガラス対応品種は、縦すべり出し窓 T、横すべり出し窓
◎:耐熱強化透明複層ガラス対応品種は、縦すべり出し窓 T、横すべり出し窓

			中空層:アルゴンガス入り											中空層:乾燥空気										
			一般								防犯(★)			一般								防犯(★)		
			透明						型			透明(中間膜30mil)	型(中間膜30mil)	透明						型			透明(中間膜30mil)	型(中間膜30mil)
			網			耐熱(◎)			網			網	網	網			耐熱(◎)			網			網	網
ガラス構成		室外ガラス厚	網6.8	網6.8	網6.8	耐熱5	耐熱5	耐熱5	網型6.8	網型6.8	網型6.8	網6.8	網型6.8	網6.8	網6.8	網6.8	耐熱5	耐熱5	耐熱5	網型6.8	網型6.8	網型6.8	網6.8	網型6.8
		中空層厚	12	11	10	14	13	12	12	11	10	8	8	12	11	10	14	13	12	12	11	10	8	8
		室内ガラス厚	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3+3	3+3	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3+3	3+3
熱貫流率	Low-E色	グリーン	B	B	C	A	B	B	B	B	C	D	D	C	D	E	C	C	C	C	D	E	F	F
		クリア	B	C	C	B	B	B	B	C	C	D	D	D	D	E	C	C	D	D	D	E	F	F
日射熱取得率	Low-E色	グリーン	0.34	0.34	0.34	0.36	0.36	0.36	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.36	0.36	0.36	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34
		クリア	0.42	0.42	0.42	0.46	0.46	0.46	0.42	0.42	0.42	0.41	0.41	0.42	0.42	0.42	0.46	0.46	0.46	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42

<住宅 仕様基準判断用日射熱取得率(ガラスの日射熱取得率)>

日射熱取得率	Low-E色	グリーン	0.42	0.42	0.42	0.45	0.45	0.45	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.45	0.45	0.45	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
		クリア	0.52	0.52	0.52	0.57	0.57	0.57	0.52	0.52	0.52	0.51	0.51	0.52	0.52	0.52	0.57	0.57	0.57	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52

<表1>熱貫流率の値
・アルミスペーサー仕様

記号	試験値	計算値	開口部の熱貫流率[W/(㎡K)] 遮蔽物無し	シャッター・雨戸付	和障子付	風除室あり	ガラス中央部の熱貫流率[W/(㎡K)]
A		○	2.03	1.86	1.76	1.69	1.1 以下
B		○	2.19	2.00	1.89	1.80	1.3 以下
C		○	2.43	2.20	2.07	1.96	1.6 以下
D		○	2.51	2.26	2.12	2.01	1.7 以下
E		○	2.59	2.33	2.18	2.06	1.8 以下
F		○	2.83	2.52	2.36	2.21	2.1 以下

当社製以外のガラスの場合は、「<表1>熱貫流率の値」のガラス中央部の熱貫流率にて判断してください。

<開口部の熱貫流率 >
・試験値はJIS A 4710に基づく代表試験体の熱貫流率です。
・計算値はJIS A 2102 または国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「熱貫流率及び線熱貫流率 窓またはドアの熱貫流率」の簡易的評価に基づく代表試験体の熱貫流率です。
・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「 窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。
・連段窓時に異なる複層ガラスを使用する場合、ガラス中央部の熱貫流率の性能の低いガラスでの評価となります。
(建具とガラスの組み合わせについては、ガラスの仕様で中空層が薄い方での評価となります。)

<日射熱取得率>
・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「開口部の垂直面日射取得率」に基づく値です。
(本表ご使用の場合は、和障子及び外付けブラインド取付け時も同じ値となります。)
・開口部の日射熱取得率は、ガラスの日射熱取得率に0.8の係数を掛けた値です。(小数第三位四捨五入)
・当社ホームページ内「①建具とガラスの組み合わせ」の「ガラス・建具毎の日射熱取得率」の値もご使用可能です。
・住宅の仕様基準判断にご使用の場合は、<住宅 仕様基準判断用日射熱取得率(ガラスの日射熱取得率)>をご使用ください。